

2023年2月28日  
AZUL Energy 株式会社  
日本化薬株式会社

**AZUL Energy 株式会社との業務提携契約締結のお知らせ**  
～「環境・エネルギー」分野に貢献する触媒関連材料 研究・開発の取り組み～

日本化薬株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：涌元 厚宏、以下「日本化薬」）は、次世代エネルギーデバイス用の触媒開発を行う AZUL Energy 株式会社（本社：宮城県仙台市、代表取締役社長：伊藤 晃寿、以下「AZUL Energy」）と、業務提携に関する契約を締結いたしました。

《背景と目的》

日本化薬グループは「機能化学品事業」「医薬事業」「セイフティシステムズ事業」「アグロ事業」の4事業を手掛けており、研究・開発においては「モビリティ」「環境・エネルギー」「エレクトロニクス」「ライフサイエンス」の重点4分野における将来の課題解決を目指し、新事業・新製品創出を進めています。「環境・エネルギー」分野においては、化学メーカーとしての知見を活かして、高性能・低コストな次世代エネルギーデバイス実用化に向けた様々な取り組みを進め、脱炭素社会・循環型社会の実現を目指しています。

AZUL Energy が研究・開発を進める触媒材料「AZUL 触媒」は活性中心に有機色素の構造を持ちます。AZUL 触媒は白金系触媒との比較において、より高い活性を示すことに加え、コスト・性能・耐久性など様々な点で優れた材料です。当社は AZUL 触媒の優位性に着目し、2021年より AZUL Energy と触媒製造法に関する共同開発を開始するとともに、関係強化の一環として資本提携を実施しています。

この度、共同開発が順調に推移し、当社で触媒製造が担える段階に進んだことから、より密接に連携・協力するための業務提携契約を締結しました。今後は当社で製造した AZUL 触媒を、金属空気電池・燃料電池等の次世代エネルギーデバイスを扱うお客様にご提供できるようになる見込みです。また、AZUL 触媒の新しいアプリケーションを開拓する取り組みにも注力していきます。

日本化薬グループは、精密有機合成や材料の分散に関する知見と AZUL Energy の触媒技術を融合し、AZUL 触媒の実用化に向けた取り組みを加速することで、環境・エネルギー分野における将来の課題解決に貢献してまいります。

《AZUL Energy 株式会社の概要》

AZUL Energy 株式会社は、東北大学材料科学高等研究所（AIMR）藪浩准教授（ジュニア PI）、東北大学学際科学フロンティア研究所阿部博弥助教（AIMR 兼任（当時））らによって見出された、高活性で高い耐久性を示す非白金系酸素還元反応用触媒電極材料の事業化を目指し、2019年7月11日に設立されました。

本触媒電極材料は、希少元素を含まず、高い耐久性と安全性を兼ね備えており、次世代エネルギーデバイスとして期待される燃料電池の脱白金化による普及や高エネルギー密度で軽量な金属空気電池の実現に貢献できるものと期待されます。（ウェブサイト：<https://www.azul-energy.co.jp/>）

以上

**[本件に対するお問い合わせ先]**

AZUL Energy 株式会社

代表取締役 伊藤 晃寿

E-mail : [info@azul-energy.co.jp](mailto:info@azul-energy.co.jp)

TEL : 022-209-5333

日本化薬株式会社

コーポレート・コミュニケーション部

E-mail : [prir@nipponkayaku.co.jp](mailto:prir@nipponkayaku.co.jp)

TEL : 03-6731-5237

